

一、請寫出下列意思相當並且與動物相關的日文諺語。(漢字要注上假名) 30%
(作答時請標明題號。)

1. 悪いことの上にさらに悪いことが起きること。
2. 価値のわからない人にどんな貴重な物を与えても無駄だということ。
3. 名人や専門家であっても失敗することがあるということ。
4. いくら忠告や意見をして、全然効きめのないこと。
5. 優れた才能を持っている人は、ふだんはそれを自慢したりしないということ。
6. 子供は親に似るものであること。また、平凡な親から生まれた子供はやはり平凡だということ。

二、下面句子翻譯成中文每題 3 分、劃底線的漢字要注上假名每個 2 分。(共 30%)

1. わが家から駅への途中、歩道に沿ってケヤキの大木が 9 本並んでいる。目測だが背丈は 20 メートルを超す。いまの季節、緑の枝を存分に広げて、威風堂々たるものだ。木々があるとないとでは、毎朝の趣は随分違うだろう。
2. すでに世界遺産に登録された京都や奈良との違いとして、鎌倉は武家の文化を強調する。サムライ、ショウグンの源流である。ただし、いびつに国際化し、拝観料が高いだけのカマクラになるくらいなら、「世界」の看板は無用だ。武士は食わねど高楊枝でいい。
3. 大手時計メーカーの調査によれば、仕事の電話を保留にされて、気持ちよく待てるのは「30 秒以内」らしい。それを過ぎるとイライラする。保留どころか一向につながらない社会保険庁の電話は、どれほどの不満を国民にもたらしただろう。
4. 世界の言語には、それぞれ得意とする分野があるようだ。エスキモーの言語に、氷や雪に関する独特の言い回しがたくさんあるように、日本語には雨の種類を表す単語が多い。程度や状況、季節によって、「小雨」「長雨」「時雨」「春雨」「五月雨」「夕立」「狐の嫁入り(天気雨のこと)」など四十を越える雨の呼び名があるという。
5. 北海道では、明治時代以降欧米人の協力のもとに開拓が進められた。また、北海道の地名には難しい読み方が多いが(長万部=おしゃまんべ等)、それは開拓以前から住んでいたアイヌ民族がつけた名前、漢字を当てはめたからである。

系別：日本語文學系三年級

科目：日語翻譯

本試題共 三 頁

P.2

6. 売られているだるまの多くは目がかかれていないだるまで、人々が願い事をする際に片方の目をかき入れ、願いがかなうと残りの目をかき入れて祝う風習が今日にも伝わっている。現在でも入試合格や選挙に当選した際に、だるまに目をかき入れる光景が多く見られる。

三、下列中文翻譯成日文（日文的漢字全部加注假名，每題 8 分共 40 分）

1. 今年 7 月 16 日是日本的國定假日「海洋日」。
2. 最近日本的年金制度引發社會討論話題。
3. 紅襪隊的主力投手是松坂大輔。
4. 2008 年秋天在北京將舉行第 29 屆世界奧林匹克大會。
5. 翻譯是由 A 文字轉換成 B 文字，要信、達、雅三者兼顧。